

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月15日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0114210818		
法人名	医療法人 樹恵会		
事業所名	グループホーム いこいの樹		
所在地	北海道標津郡中標津町西8条北6丁目2番地5 (電話) 0153-73-3822		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年3月13日	評価確定日	平成21年4月10日

## 【情報提供票より】(平成21年2月20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年5月20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	10人, 非常勤 6人, 常勤換算 11.05人

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	85 円
	または1日当たり		1,085 円	

### (4) 利用者の概要(2月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	4 名	要介護2	8 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 85.6 歳	最低	67 歳	最高	97 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	町立中標津病院、石田病院、中標津総合歯科診療所
---------	-------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体の医療法人を中核として、複数の福祉・医療サービス事業所を運営しており、地域の医療と福祉の中心的な役割を担っています。ホームは管理者及び各ユニットリーダーが中心に職員全員が本人本位の生活が送れるように実践に向けて取り組んでいます。ホーム内には、利用者の作品や行事の際の笑顔の写真が所々に飾られ家庭的な雰囲気が感じられます。月2回、医師の往診があり、家族の負担の軽減を考えて受診はすべてホームで対応しており、ラジオ体操・嚥下体操やレクリエーションを取り入れ身体機能の低下予防や水分摂取についてもしっかりと把握され利用者の健康管理に努めています。また、近隣の小学校の体験学習での来訪があり、管理者は小学校で認知症や高齢者について授業を行うなど相互の交流を図っています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価では、運営推進会議の議題の工夫と地域に向けて認知症を理解して貰う取り組みが挙げられていましたが、ホーム行事参加で意見や感想を聞き、今後の参考にしたり、キャラバンメイトの活動を職域や行政機関へ働きかけ認知症を理解して貰う取り組みが行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、ケアを振り返る機会と捉え全員で行っており、評価結果は真摯に受け止め話し合い改善に向けて取り組んでいます。また、管理者や職員は評価結果を一年間の努力の結果と捉え、今後のケアの質の向上へのモチベーションに繋げています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在7回実施されています。主な議題についてはホームの日常の様子を紹介 外部評価の結果報告 行事に参加した後の感想と意見交換 防火・防災避難訓練の取り組み方の説明と意見交換 事故・災害時の対応
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 季節毎に各ユニット名の「はるにえ」「しらかば」のホーム便りを発行し、行事や様子を伝えており、毎月、手書きの手紙での連絡や金銭出納帳を送付しています。体調の変化による受診の際には、事前事後に電話で家族に報告し、来訪時に、意見や要望、不満を言いやすいような雰囲気作りに努めています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の清掃活動や防災会議などの地域活動に参加し、盆踊り、ジャガイモ祭りや冬まつりの行事にも積極的に参加し、町主催の美術展覧会には、利用者の油絵を出展して本人の自信に繋げています。日常的に近所の子供や高齢者の訪問があり、地域の保育所の行事に招待されたり、近隣の小学校の体験学習での来訪もあり地域との交流を図っています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「尊厳を大切にし、心身の安定を図り、家庭的で心温まるケアに努め、常に清潔で安全な環境を提供します。」を理念とし、地域住民と協力して、地域の中で一人ひとりが安心して過ごしていけるようにとの思いで理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホーム内の掲示版に掲示しており、管理者や各ユニットの責任者は会議の中で、理念に添ったケアが実践されているかを職員全員が振り返る機会をつくり、職員は、理念を常に意識して実践に向けて日々のケアに取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の清掃活動や防災会議などの地域活動に参加し、盆踊りや冬まつり、ジャガイモ祭りなどの行事にも積極的に参加している。地域の保育所の行事に招待されたり、町主催の美術展覧会には、利用者の油絵を出展して本人の自信に繋げている。		ホーム主催の焼肉などの行事に地域の方々が参加している。近隣の小学校の体験学習、近所の子供や高齢者の訪問がある。管理者は認知症や高齢者を理解して貰うため小学校へ講師として訪問し、講習を行うなど相互の交流を図っている。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、自分達のケアを振り返る機会と捉え、職員全員で行っている。評価結果は真摯に受け止め、改善点は職員全員で話し合い、改善に向けて積極的に取り組んでいる。また、管理者や職員は評価結果を一年間の努力の結果と捉え、今後のケアの質の向上へのモチベーションに繋げている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は評価日現在7回開催されている。メンバーは利用者、家族、町内会長、包括支援センター職員、町の職員及び管理者・職員で構成され、避難訓練の取り組み方や行事に参加しての感想や意見を貰いサービス向上に活かしている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、町の担当者と気軽に相談や情報交換できる関係を築いている。また、管理者は継続して町との連携で職域や行政機関と共にキャラバンメイトの活動に取り組んでいる。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	季節毎に各ユニット名の「はるにえ」「しらかば」のホーム便りを発行し行事や暮らしぶりを伝えている。また、毎月、手書きの手紙での連絡や金銭出納帳を送付している。相談事や体調の変化による受診の際には、事前事後に電話で家族に報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時には、意見や要望、不満を言いやすいような雰囲気作りに心がけ、意見、要望があれば各ユニットでよく話し合い改善に向けて取り組んでいる。また、結果は速やかに報告している。		今後は、利用者の家族同士が集まれる機会を作り、ホームへの意見や要望、不満を出し易くする取り組みや、運営推進会議で、家族の代表以外の家族にも参加を募り、外部の人にも意見や要望を聞いて貰う機会を作るように検討している。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者、及び管理者は職員が長期間に渡って勤められるように、仕事上の悩みや相談事を極力聞くよう心掛けており、馴染みの職員と利用者の信頼関係を大切に考えている。やむなく退職する場合は、利用者にはダメージがないように全体でフォローするよう心掛けている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月のホームや法人内の研修の他、町主催の勉強会やグループホーム協議会主催の講演会など外部で研修を受けられる機会を作っている。また、町の医療・福祉関係の職員で構成されるケア研究会主催の勉強会や研修会、講演会に積極的に参加しており、研修報告会を会議の中で時間を作り実施されている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>町のグループホーム間で共同で勉強会を実施しており、グループホーム協議会での、相互交流や勉強会などの活動を通じて意見交換し相互の関係作りに努めている。今後は、交換研修も積極的に実施できるよう検討している。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用前に本人・家族と相談しながら納得を得るまで説明しており、可能であれば短時間でも生活を体験してもらい利用者やホームの雰囲気徐徐に馴染んで貰えるように取り組んでいる。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者から雑巾縫いや靴下やセーターなどの編み物を教わり、調理では、野菜の切り方や味付け、畑作業、花の手入れなどの役割ごとや折り紙で千羽鶴や手芸の作品作りの趣味と一緒に言いながら、その中で喜怒哀楽を共にし本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式で日常生活の中での表情や会話から利用者の希望や意向の把握に努め、職員間で情報を共有している。買い物、散歩、外食、ドライブ、自宅を見に行く等、本人の希望や意向を実現できるように支援している。		なるべく本人に選んで貰う機会をつくり、10時のティータイムでは、本人の好きな飲み物を出すのではなく、その日に本人が飲みたい物をメニューの中から選んで貰うようにして、本人のその日の希望に添った生活が送れるように支援している。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式を活用し、利用者との日常の会話や係わりの中で本人、家族からも情報を収集し介護計画に反映させている。また、課題は介護支援専門員でもある管理者及び、各ユニットリーダーを中心に、本人や家族、職員全員の意見や希望を取り入れ現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に計画的に見直しが行われている。また、利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても随時、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に応じて通院の支援や、本人の希望や要望がある場合、買い物、散歩、気晴らしのドライブなど、本人の希望が実現できるように支援している。又、家族の代わりに各種手続きを代行する場合もある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月2回、母体法人の医師の往診があり、受診はすべてホームで対応している。かかりつけ医とは気軽に相談やアドバイスを貰える関係が築かれており、利用者、家族の希望や要望に応じて状態の変化についてもリハビリや適切な医療が受けられるよう支援されている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>本人、家族の希望や意向があれば、可能な限りホームで対応している。母体法人の医療機関と連携し利用者・家族とも早い段階から話し合い慎重に対応するよう全職員で方針を共有している。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者一人ひとりの尊厳と誇りを損ねないような言葉かけや対応を心掛け、プライバシーや羞恥心の配慮にも注意して支援している。また、記録の扱いについても、十分に注意している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>センター方式で一人ひとりの気持ちが把握され共有されている。利用者の希望や思いを尊重し、買い物や調理や食事の準備、畑作業の役割事への支援、折り紙やカラオケや油絵、短歌の趣味への支援など本人の希望やペースに添って支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に準備、食事、片付けを行っており、献立は利用者の好みや希望をメニューに反映させている。また、一人ひとりの体調に合わせて調理方法を工夫しており、お寿司やバイキング形式で食事を提供し、外食の機会もつくり食事が楽しみごとになるよう工夫している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に添えるよう、何時でも入浴可能な体制にしており、夜間に入られる方もおり、母体法人の病院の温泉や地域の銭湯に行くなど入浴を楽しめるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式の生活歴を踏まえ、食事の配膳、テーブル拭き、水入れ、食器拭き、食器洗いなどの役割ごとの当番表を作り、利用者が平等に行えるように支援している。		畑作業の役割ごとや折り紙やカラオケなどの趣味の活動にも、さりげなく職員が手助けしながら自由に楽しめるよう支援している。また、日常的に散歩や買い物に行ったり、気晴らしのドライブなども定期的に行っている。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望に添って散歩・日光浴・買い物・畑作業などを自由に楽しめるよう支援している。また、希望があればすぐに予定を立て、実現できるよう支援しており摩周湖・サーモンパーク・開陽台など近郊の観光地へのドライブに出かけている。		東藻琴の芝桜や網走のさくらんぼ狩りなど遠方へのドライブや観光も実施しており、常に利用者が楽しめる支援を行っている。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、夜間以外は施錠は行わず、自由に出入りできる状況にあることで、職員は利用者の状況・行動を把握して安全に暮らせる支援に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者を設置し、火災等の緊急時対応マニュアルを作成している。年2回の避難訓練を実施しており、その内一回は消防署員立会いのもと行われている。また、地域の防災会議に参加し、地域との取り組みも行われている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な食事摂取量、水分摂取量が記録され、水分は1日1.5 を目標に0.8 以下であれば、次の勤務者に申し送られ支援しており、利用者の健康管理に努めている。</p>		<p>食事については栄養バランスとおおまかなカロリーは把握されており、一人ひとりの健康状態に合わせた量や調理の工夫がなされており、定期的に法人の栄養士に献立を見てもらいアドバイスを貰っている。</p>
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用部分には花を飾ったり、壁には利用者が描いた絵画や折り紙の手芸作品のほか、行事の時の利用者の笑顔の写真を掲示しており、居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、ホームの外で犬を飼っており、世話やホーム内から毎日、様子を見に行ったりとホームの一員として生活している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、職員の手作りの表札があり、入口にのれんを掛けている部屋もあり、家具類は本人が使い慣れた馴染みの物が持ち込まれ、家族との写真や本人の趣味の作品などを飾り居心地よく過ごせる環境作りに努めている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。